



# バンコク便り



## 1. はじめに

タイの1年には雨季・乾季・暑季という3つの気候があると言われております。気象局によると2月21日に例年より早く暑季（ホットシーズン）に入り、5月中旬まで続く見込みです。また日本でもニュースになった大気汚染問題はタイ北部ではまだ続いています。バンコク中心部では大幅に改善されてきており、街の様子も少し落ち着いてきたように感じます。それでは今月も常夏のタイより当地情報をお伝えいたします。

## 2. 当地ビジネス情報

### （山形県タイ友好協会第1回訪タイミッションについて）

2月3日から6日にかけて、山形県タイ友好協会のミッション団（団長：寒河江浩二県経営者協会会長・山形新聞社長）約50名が訪タイしました。第1回の今回は山形県へのインバウンド誘客拡大等の相互交流を目的に、観光関連のタイ政府機関や企業への訪問の他、小職が出向しているカシコン銀行等に訪問しタイ経済セミナーを受けるなど、当協会設立による交流の拡大を図りました。またタイ国際航空へ訪問した際には、仙台-バンコク間の定期便再開について意見交換を行い、今年11月頃に再開する可能性がかなり高いと言われております。さらに友好交流発展の願いを込め、タイ北部チェンマイにて桜の植樹なども行いました。

2月4日に開催されたレセプションパーティーでは来賓として、タイの元外相アーサー・サラシン氏、そのご子息で蔵王へのスキーパッケージツアーを発表したパティ・サラシン氏、山形市と昨年、覚書を締結したタイ柔道連盟、合宿を誘致しているタイスキー連盟等約20名、バンコク山形県人会からも約15名（当地の県内進出企業責任者、製造業・サービス業関連の駐在員、旅行会社添乗員等）の方にご出席いただき、会員との交流を行いました。また、山形県観光文化スポーツ部の武田部長からも観光PRをしていただき、多くの皆さまに山形県の魅力を伝えられました。

2月6日の最終日に行われた同ミッション団の解団式では、今後もタイとの交流を深め、相互の社会発展に貢献することや、次回以降の事業やミッションについても話をされていました。当協会事務局として、弊行も今後の交流発展のため、精一杯取組んで参ります。



カシコン銀行セミナー風景  
講師：荘内銀行・齋藤（小職）



タイ政府観光庁にて  
寒河江会長（写真中央右）・弊行上野頭取（写真右）



レセプションにて  
武田部長からの観光PR

## 3. 現地トピックス

### （タイ国際旅行フェアについて）

2月13日から17日にかけて、バンコクでタイ国際旅行フェアが開催されました。山形県のブースも設置され、タイ人のインバウンド客誘致に取り組んでいました。また今回は昨秋、山形で撮影が行われたタイのドラマ「ダンドゥアン・ハルタイ」のロケ地も紹介し、山形に興味を示すタイ人もたくさんいました。

2月18日には山形県主催の観光セミナーとタイ旅行会社との商談会が開催され、山形からも旅館の方々が訪タイし、積極的に商談されていました。旅行フェアも商談会も多くの人が山形に興味を持ってくださり、大盛況でした。



賑わっている山形ブースの様子

【本件に関する連絡先】 地方創生部 海外業務 G 石井・榎 023-626-9050  
バンコク駐在（カシコン銀行ジャパンチーム） 齋藤 +66-(0)63-206-2823